

## 第 11 期研究計画・評価分科会における分野別研究開発プログラム評価 の試行について

令和 4 年 7 月 8 日  
研究計画・評価分科会

研究計画・評価分科会（以下「分科会」という。）においては、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針<sup>1</sup>」を踏まえ、以下のとおり分野別研究開発プログラム評価（以下「プログラム評価」という。）を試行的に実施する。

### 1. 評価の進め方

最新の分野別研究開発プランにおいて定められた研究開発プログラム毎に

- 政策評価における測定指標
- プログラムに含めた達成目標を構成する事業の、行政事業レビューにおける成果指標（アウトカム）、活動指標（アウトプット）
- その他適切と思われる指標（分科会に設置される分野別委員会及び情報委員会（以下、「分野別委員会等」という。）で検討）

などについて、添付のフォーマット（事前分析表及び行政事業レビューシートを添付可）に従い、プログラム全体の状況を把握（モニタリング）し、分野別委員会等から分科会に報告する。その際、プログラム全体や研究開発課題の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料を当該フォーマットに添付する。

なお、指標については、分野別委員会等や分科会の議論を踏まえ、適宜変更できるものとする。

第 11 期中には 1 度実施するものとし、その後、当面は各委員会毎に隔年で行うこととする。

ただし、第 11 期中の試行の結果については、期の最後にまとめ、今後の進め方の提案も含め、次期に申し送りを行うこととする。

### 2. プログラム評価を行うに当たっての留意事項

- (1) 分野別委員会等は、研究開発プログラムの外部評価の評価実施主体とし、分野別委員会等事務局が記入した別添評価フォーマットに基づいて、可能な範囲で、全体を俯瞰した上での留意点や気づき、プログラムの進捗状況におけるコメントについて「プログラムの現状についてのコメント」欄に記入する。

<sup>1</sup> 「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」（平成 29 年 4 月 最終改定 文部科学大臣決定）

- (2) 評価フォーマットに記入する研究開発課題は、プランに記載した研究開発課題のうち、実施中の研究開発課題及び前年度に終了した課題とする。
- (3) 分野別委員会等で実施した評価結果を分科会に報告する際には、評価を実施した分野別委員会等の名簿を添付する。
- (4) プログラム評価における利害関係者について  
今回は、プログラム全体の状況を把握（モニタリング）することを主とする試行であるため、利害関係者も排除しないものとするが、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」を勘案し、以下のとおりとする。
- 1) 分野別委員会等では、各プログラムの趣旨や性格に応じてあらかじめ利害関係となる範囲を明確に定めることとする。利害関係を有する可能性のある者を評価に加える場合には、利害関係の内容を明確にし、名簿に記載する。
  - 2) 分科会で評価結果を決定するに当たっては、以下のいずれかに該当する場合は、当該委員と利害関係の内容を名簿に明記する。
    - ① 評価対象プログラムに含まれる研究開発課題に参画している者
    - ② 評価対象プログラムに含まれる研究開発課題被評価者（実施課題の代表者）と親族関係にある者
    - ③ 利害関係を有すると自ら判断する者
    - ④ 分科会において、利害関係を有すると判断された者
- (5) 分科会は、分野別委員会等から評価フォーマット及びその添付資料に基づき報告を受け、それを基にプログラムの進捗状況を確認する。

<参考> 「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」（抜粋）

第2部 研究開発評価の実施

第2章 対象別事項

2. 1 研究開発プログラムの評価

2. 1. 3 評価者

2. 1. 3. 2 評価者の幅広い選任、利害関係者の取扱い

（前略）

また、公正で透明な評価を行う観点から、原則として利害関係者が評価に加わらないようにする。その際、各研究開発プログラム等の趣旨や性格に応じてあらかじめ利害関係となる範囲を明確に定める。やむを得ず利害関係者とみなされる懸念が残る者を排除できない場合には、その理由や利害関係の内容を明確にするとともに、当該評価者のモラルの維持や評価の透明性の確保等を図らなければならない。

1. 〇〇分野研究開発プランを推進するにあたっての大目標：「〇〇」（施策目標〇-〇）

概要	(※当該分野研究開発プランに記載のプランを推進するにあたっての大目標の概要を記載する。)
----	--

2. プログラム名：〇〇

概要	(※当該分野研究開発プランに記載のプログラムの概要を記載する。)
----	----------------------------------

3. プログラムの実施状況

(1) プログラム全体に関連する指標及びその状況

※プログラム全体に関連する指標及び当該指標に係る2018年度から現在までの状況について、可能な範囲で記載する。

※2018年度から現在までの状況について、各年度の欄内への記載が困難な場合は、「備考」欄に記載する。

	年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
		FY30	FY31	FY2	FY3	FY4	FY5	FY6	FY7	FY8	FY9	FY10	FY11
アウトプット 指標													
アウトカム 指標													
添付資料名	(※プログラム全体の進捗状況を示す資料等があれば添付し、その資料名を記載する。)												
備考	(※特記事項があればその内容について簡潔に記載する。)												

(2) 個別の研究開発課題に関連する指標及びその状況

※研究開発課題数に合わせて記載欄は調整する。

※研究開発課題評価実施年度の欄に、評価実施（予定）年度に従い、「事前」・「中間」・「事後」と記載する。

※各研究開発課題の進捗状況把握のため、政策評価における事前分析及び行政事業レビューシートを使う場合は、当該資料を添付し、使用する指標について「既存の指標を参照する場合」欄に必要事項を明記することで、「既存の指標を転記する場合」欄への転記を省略することができる。

※事前分析及び行政事業レビューシートに記載されている指標以外の指標を設定する場合は、「既存の指標以外の指標を記載する場合」欄に必要事項を明記すること。インパクト／アウトカム／アウトプットの定義については、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」（最終改定平成29年4月1日）「本指針における用語・略称等について」を確認すること。

※「既存の指標を転記する場合」欄～「既存の指標を参照する場合」欄について、使用しない行は削除すること。また、目標値を設定していない年度については「-」と記載する。

※定性的な目標を設定している場合は、当該目標及び2018年度から現在までの達成状況・実績について、可能な範囲で「備考」欄に記載する。

①研究開発課題名：□□□・・・（重点的に推進すべき取組：■■■・・・※プログラムに記載の重点的に推進すべき取組を記載する。）

目的・概要	<目的> <概要> (※研究開発課題ごとに、直近の評価結果に記載されている目的及び概要を記載する。)												
課題実施 機関・体制													
	年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
	(※網掛けは課題実施期間)	FY30	FY31	FY2	FY3	FY4	FY5	FY6	FY7	FY8	FY9	FY10	FY11
	研究開発課題評価（事前、中間、事後）実施年度												
	予算額及び翌年度要求額（億円）												
既存の指標を 転記する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標以 外の指標を記 載する場合	指標の種別 (インパクト/アウトカム/アウトプット)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標を 参照する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	添付資料の 該当頁（頁）	添付資料の該当頁の該当箇所									
添付資料名	(※当該研究開発課題について、進捗状況を示す資料等を添付し、その資料名を記載する。)												
基本計画等 への貢献状況	(※研究開発課題の評価票に記載の上位施策への貢献状況（「第11期研究計画・評価分科会における研究開発課題の評価について」（令和4年3月3日改定）においては別添様式の「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献見込み」または「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献状況」に記載の内容）をすべて転記する。別添可。)												
備考	(※特記事項があればその内容について簡潔に記載する。)												

②研究開発課題名：△△△・・・・・・（重点的に推進すべき取組：▲▲▲・・・・・・※プログラムに記載の重点的に推進すべき取組を記載する。）

目的・概要	<目的>												
	<概要> (※研究開発課題ごとに、直近の評価結果に記載されている目的及び概要を記載する。)												
課題実施 機関・体制													
年度 (※網掛けは課題実施期間)		2018 FY30	2019 FY31	2020 FY2	2021 FY3	2022 FY4	2023 FY5	2024 FY6	2025 FY7	2026 FY8	2027 FY9	2028 FY10	2029 FY11
研究開発課題評価（事前、中間、事後）実施年度													
予算額及び翌年度要求額（億円）													
既存の指標を 転記する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標以 外の指標を記 載する場合	指標の種別 (インパクト/アウトカム/アウトプット)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標を 参照する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	添付資料の 該当頁（頁）	添付資料の該当頁の該当箇所									
添付資料名	(※当該研究開発課題について、進捗状況を示す資料等を添付し、その資料名を記載する。)												
基本計画等 への貢献状況	(※研究開発課題の評価票に記載の上位施策への貢献状況（「第11期研究計画・評価分科会における研究開発課題の評価について」（令和4年3月3日改定）においては別添様式の「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献見込み」または「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献状況」に記載の内容）をすべて転記する。別添可。)												
備考	(※特記事項があればその内容について簡潔に記載する。)												

③研究開発課題名：▽▽▽・・・・・・（重点的に推進すべき取組：▼▼▼・・・・・・※プログラムに記載の重点的に推進すべき取組を記載する。）

目的・概要	<目的>												
	<概要> (※研究開発課題ごとに、直近の評価結果に記載されている目的及び概要を記載する。)												
課題実施 機関・体制													
年度 (※網掛けは課題実施期間)		2018 FY30	2019 FY31	2020 FY2	2021 FY3	2022 FY4	2023 FY5	2024 FY6	2025 FY7	2026 FY8	2027 FY9	2028 FY10	2029 FY11
研究開発課題評価（事前、中間、事後）実施年度													
予算額及び翌年度要求額（億円）													
既存の指標を 転記する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標以 外の指標を記 載する場合	指標の種別 (インパクト/アウトカム/アウトプット)	指標	単位	実績値				目標値					
既存の指標を 参照する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	添付資料の 該当頁（頁）	添付資料の該当頁の該当箇所									
添付資料名	(※当該研究開発課題について、進捗状況を示す資料等を添付し、その資料名を記載する。)												
基本計画等 への貢献状況	(※研究開発課題の評価票に記載の上位施策への貢献状況（「第11期研究計画・評価分科会における研究開発課題の評価について」（令和4年3月3日改定）においては別添様式の「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献見込み」または「科学技術・イノベーション基本計画等の上位施策への貢献状況」に記載の内容）をすべて転記する。別添可。)												
備考	(※特記事項があればその内容について簡潔に記載する。)												

4. プログラムの現状についてのコメント（任意）

(※分野別委員会等として、本プログラムの進捗状況におけるコメントがある場合は記載する。)
--

5. 参考

政策・施策番号	
施策目標	
達成目標番号	
達成目標	

行政事業レビュー事業番号	
行政事業レビュー事業名	
行政事業レビュー事業目標	

## 6. 添付資料名一覧

(例)

- ・別添1 ○○プログラムについて（※プログラム全体の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料）
- ・別添2 令和3年度実施施策に係る事前分析表（政策・施策番号：○-○）
- ・別添3 令和4年度行政事業レビューシート（事業番号：○○○）
- ・別添4 □□課題について（※研究開発課題の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料）
- ・別添5 △△課題について（※研究開発課題の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料）
- ・別添6 △△課題に係る基本計画等への貢献状況
- ・別添7 ▽▽課題について（※研究開発課題の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料）